

1 事業概要

事務事業名		地域療育事業		課名	子育て支援課	事業No.	111
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H11	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			地域福祉計画			
	法令・例規等			児童福祉法 障がい者総合支援法			
事業目的		対象	飯田、下伊那に住む障がい児				
		意図	障がい児や保護者の抱える、障がいや発達の遅れなど固有の問題や悩みを軽減します。				

2 事業内容

30年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
		地域療育の個別相談は、飯伊圏域の乳幼児期の相談先として定着し、身近な専門機関として早期からの発達支援を保護者同意のもとに行いました。 地域保健師、子育て機関との連携を密にすることで、児の姿に対する理解、相談への不安の軽減を図りました。 保育園、学校等への訪問は、現場での具体的な支援方法を職員と共に探り、助言を行いました。また、関係者会議、保護者を含めた支援会議での姿の共有など、児を中心に据えた家庭支援、相談体制づくりを進めました。 初回相談、発達の節目での相談等、療育コーディネーターが窓口となり専門機関や専門職員へ繋いでいます。		専門職員賃金				10,641
			心理相談員報酬				196	
			感覚統合訓練謝礼				720	
			専門職員旅費				633	
			その他の経費				582	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	
	外来相談利用者数	人	673	511	503			
	外来相談利用延べ人数	人	3,003	2,961	3,323			
	保育園・幼稚園・学校等訪問回数	回	104	69	117			
	" 訪問指導職員延べ人数	人	507	347	455			
	早期発達支援グループ等実施回数	回	77	74	74			
	" 利用延べ人数	人	513	386	455			
30年度決算(千円)	予算額	15,766	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	12,772	(県) 地域療育等支援事業委託金 (10/10)					
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 諸収入				
		県支出金	3,373					
		地方債	0					
		その他	5,283					
一般財源	4,116							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	4	12	1	15,766	12,772	地域療育事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		発達支援の早期開始と継続した支援を充実させるためには、保護者との合意形成、家庭支援が欠かせないと考えます。そのためには専門性の高いスタッフ体制(臨床心理士、社会福祉士等)を維持する必要があります。また、学童期以降の発達支援について、推進体制や学校連携を整備していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		学童期以降の発達支援に係る推進体制のあり方について、関係機関による検討が必要です。							
次年度に向けての取り組み		専門職(臨床心理士、社会福祉士等)の確保に努めます。地域保健師・子ども家庭応援センター・保育所等・学校など関係機関との連携をさらに密にし、途切れない発達支援と、特に学童期以降の発達支援に係る推進体制について検討していきます。							